

ヘルスサポートラボのご案内

このツールで作成される帳票は、現場で働く保健師・栄養士の実践の中で生まれました。専門医の先生方の助言のもと、最新の関係学会ガイドラインを根拠に、国の政策動向も踏まえて作成しています。Excelで加工しやすく、保健指導の実践だけでなく、関係機関や地区医師会との連携にも活用されています。

①保健指導実践ツール

特徴 特定保健指導や糖尿病性腎症の重症化予防等の実践を支援します。地域の全体像を把握したうえで、地域の優先順位を踏まえた対象者を抽出できます。また、健診結果経年表から保健指導教材を一括印刷することも可能です。

PLAN 対象者の把握

特定保健指導対象者に限らず、関係学会ガイドラインに基づき、リスクの重症度や集積に応じて、ハイリスク者の概数を把握。→市町村の体制に応じて優先順位を決定

Do 対象者の抽出・保健指導

重症度(コントロール状況)に応じて、色づけ。複合リスクの判定値を参照し、保健指導対象者を明確化

対象者ごとに経年表や保健指導教材を作成
→個別性を重視した保健指導の実践

ACTION

取り組みの成果・課題に応じてより効果的・効率的な方法・内容に改善

CHECK

個人 の評価 重症化予防対象者のレセプト状況や翌年度の健診受診状況・データの改善等を確認

集団

翌年度の改善状況や6ヶ年の健診受診者全体の有所見割合等を確認

②高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施支援ツール

特徴 地域の課題分析からハイリスクアプローチの優先順位の決定、対象者名簿の作成など、地域の実情に合わせた効果的な活動展開を支援します。

対象者名簿の作成

疾病別、年代別、また対象者の実人数が把握できるよう個人単位でも集計します。また対象者名簿を作成し、優先順位に応じて、絞り込みを行うことも可能です。

その他、
・後期高齢者の入院分析
・フレイルと生活習慣病
・高血圧・糖尿病重症化予防のための健診・レセプトの突合などの帳票が作成できます。

国保と後期の保健事業の接続を図るため、上記帳票は、国保(40~64歳・65~74歳)でも作成できます。

③データヘルス計画作成・評価支援ツール

特徴 KDBシステムのデータを2次加工し、高額レセプトや透析、介護と生活習慣病の関連など、データヘルス計画だけでなく、今後の評価も併せて支援します。

継続受診者や新規受診者別のデータ分析や経年推移、同規模保険者等との比較など、中長期的な評価を行うことができます。

※KDBのバージョンアップに伴う仕様変更にも対応します。
※データヘルスを推進するためには、①・②も併せて活用することをおすすめします。

データ分析
ヘルスサポートラボ
合同会社

〒901-0616 沖縄県南城市玉城字前川165番地
TEL (098)975-7311 FAX (098)975-7322